

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 world of star
施設名	きらきら保育園 岩出園
報告者（役職）	施設長 中谷 和弘
住所・連絡先	和歌山県岩出市尼ヶ辻 40-5
	☎ 0736-79-4605 E-mail wos.kirakiraiwade@gmail.com

○タイトル（保育計画）

0, 1, 2 歳児の身体と心を育てるために

○主な助成備品

お散歩カート、マット、大型ブロック等

1. 保育計画策定の目的

- ・お散歩カートの整備により戸外に出かけ、季節ごとの自然と触れ合う。
- ・マットの導入により身体を動かし、身振り手振りで表現することを楽しみながら、運動機能を養う。
- ・大型ブロックの導入により自由な発想で遊ぶことで想像力や好奇心を養う。

きらきら保育園では「一人ひとりの個性を尊重し、のびのびとした環境の下、生きる力を伸ばす保育を目指す」という保育方針に則り、園児の健全な発育を考え、戸外活動を積極的に取り入れてきましたが、遊具・スペース不足のため近隣の公園等を併用しています。そのため、移動に際してお散歩カートの利用や、雨天時に園内で身体を動かせるような遊具、玩具が必須となっています。

開園にあたり遊具や玩具等を購入し、園庭スペース、野菜や花の栽培を体験する温室を整備しておりましたが、実際に十数名の園児で利用をすると、遊具や玩具は十分とは言えず、園庭も手狭という点が現実的な課題として浮き彫りになりました。保育士達が手作りの玩具を用意したり、飾り付けを行うといった工夫を用い、園児が満足できる環境を目指してきましたが、本質的な解決には至っておらず、本助成事業に申請をいたしました。



2. 具体的な実施内容

お散歩カートの整備により、戸外活動機会の増加と安全性の向上ができ、近隣公園への外出機会を確保しやすくなりました。0歳児、1歳児においては徒歩での移動の負担も小さくなり、戸外で季節ごとの自然を感じながら、のびのびと過ごすことができます。

また、マットの導入により、悪天候時でも園内で身体を動かし、感性を刺激するアスレチック感覚の活動機会が増加しました。マットの感触を手足で感じ、楽しい、やってみたいという好奇心を強めると同時に、身振り手振りで表現をしたり、子どもの運動機能を養うことに活用しています。

大型ブロックはマットと併用し、身体を動かすことにも使用していますが、積み木のように創作にも使用することで、想像力や好奇心を培う一助となっています。

特に1、2歳児では遊びを通じて他の園児と一緒に何かに取り組んだり、自分から関わる感覚を養うことにも効果を感じています。



3. その成果と評価

これらの取り組みを実施したことにより、家庭保育だけでは不足しがちな集団での生活や社会性の基礎を育むといった面はもちろん、当保育園の特色である広々とした屋内スペースでの活動や戸外活動の拡充に効果を実感しています。

特に1、2歳児においては、園児どうしで相談・協力をしながらブロックを高く積み上げたり、順番を守ってマットを使用して遊ぶといった様子が見られています。



4. 今後の課題と展望

これまでの成果を振り返ると、身体を動かす保育活動においては、今回の待機児童対策・保育所等助成事業により備品整備をすることができ、内容の充実を図ることができました。

その他の分野においても、保育活動内容を充実させ、総合的な保育の質の向上を図ることが今後の課題と考えています。

弊社は本年度で保育事業の運営を開始して5年が経過し、令和6年度より正式に保育事業者となる見込みです。小規模ならではの園児1人ひとりにしっかりと関わる保育や異年齢間の関わりという面は引き続き大切にしつつ、待機児童の解消や地域貢献といった保育事業者の役割を果たすべく、より良い保育園運営を目指していきます。

以上